

Q & A

Q 北本市の財政は大丈夫ですか？

A 夕張市の破綻を受けて、国は地方自治体の財政の健全性を判断する指標を定め、これを算出することを地方自治体に義務付けています。この指標を試算したところ、以下のとおりとなりました。現状よりは上昇するものの、国の基準を超えることはありません。

	現状 (H24)	新駅を含まない将来予測	新駅を含む将来予測	国の早期健全化基準(100-カード)
実質公債費比率(※1)	7.1%	10.0% (H33)	12.4% (H34)	25.0%
将来負担比率(※2)	22.2%	49.7% (H26)	62.6% (H30)	350.0%

※1：地方自治体の収入に対する負債返済の割合。

※2：地方自治体が将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率。

Q 新駅建設に庁舎建設基金を活用すべきでないのでは？

A 庁舎建設基金の活用以外に、現在の北本市に新駅建設のための財源を用意する方法はありません。新庁舎も新駅も建設でき、借入れも問題のない額であれば、そのやりくりを行うべきと考えます。

Q 新駅に財源を奪われ、福祉にお金が回らなくなったりしませんか？

A 新駅建設による支出で、増税や福祉分野の予算カットなどはありません。一時的に財政の負担は増えますが、それ以上に人口増によるプラス効果の方が長く続くため、歳入増加で市民サービスが向上し、これからの高齢化対策にも有効です。

Q ハコモノを作ると維持費がかかるのではないですか？

A 新駅の維持管理はJR東日本(株)が担います。市は新駅建設と周辺開発で増加する税金を受け取る立場のため、新駅は北本市にとって利益を生み出す事業です。

Q 新駅ができて、恩恵を受けるのは駅周辺の方だけではないですか？

A 人口減少時代に突入した中、北本駅について2つ目のまちづくりの核となる新駅は、まちの活力を維持、発展させる起爆剤となり、50年後、100年後の北本市民にとって貴重な財産となるものです。

新駅の設置による税金増加は市全体の福祉に役立てることができ、その効果は駅周辺地域に限られるものではありません。

Q 新駅設置で停車時間が生じるため、北本駅利用者にとって乗車時間が増えるのでは？

A 新駅ができることで高崎線の駅数が増え、新駅での停車時間を考慮すると大宮ー北本間の乗車時間は長くなりますが、北本市に北本駅と新駅の2つの駅ができることで、北本駅に快速電車を停車する実現性が増すと考えており、要望活動を行っていきます。

問合せ
新駅建設推進課新駅建設推進担当
☎594-5548

新駅建設の賛否を問う住民投票を実施します

投票日は 12月15日(日曜日)

市では、新駅設置に向けJR東日本(株)に対して、長年にわたり要望活動を実施してまいりました。

その結果、平成25年7月8日に、JR東日本(株)から「新駅設置の正式協議に向けた要望書の提出ができる環境が整った」との回答をいただきました。

新駅は、北本駅に次いで2つ目のまちづくりの「核」となり、まちの活力を維持・発展させる起爆剤となるものです。市民の皆さんとともに将来のまちづくりについて考えていくため、住民投票を実施することといたしました。

新駅建設に関する市民説明会を開催します

下記の日程で「新駅建設に関する市民説明会」を開催します。

一票を投じる市民の皆さんに、新駅建設についての理解をより深めていただくための説明会ですので、多くの皆さんのご参加をお願いします。

説明会の日程は区域ごとに対象を分けていますが、ご都合のつく日、会場にご参加ください！

開催日	時間	会場	対象区域
11月9日(土)	午前10時～正午	南部公民館体育室	南部コミュニティ
	午後3時～5時	コミュニティセンターホール	本町西高尾コミュニティ
11月10日(日)	午前10時～正午	学習センターアリーナ	公団地域コミュニティ
	午後7時～9時	文化センター第3会議室	中央地域コミュニティ
11月16日(土)	午前10時～正午	西部公民館体育室	西部コミュニティ
	午後3時～5時	北部公民館体育室	東間・深井コミュニティ
11月17日(日)	午前10時～正午	中丸公民館ホール	中丸コミュニティ
	午後3時～5時	勤労センター集会室	東地域コミュニティ
11月19日(火)	午後7時～9時	文化センター第1・2会議室	地区指定なし

なぜ、新駅が必要なのか

北本市の人口は平成17年1月の71,241人をピークに、平成25年10月には69,038人となり、減少が進んでいます。また国の推計では平成42年(2030年)には6万人を切ると予測されています。

人口減少は、まちの活力の低下を招くとともに、福祉や公共事業など、行政サービスにも大きな影響を与えますが、新駅の設置は人口増加を促し、賑わいとふれあいを創出します。新駅周辺の地域のみならず、市全体の活性化の「核」となり、50年後、100年後の市民に残す貴重な財産となるものです。

新駅による効果

1. 新駅が持つ様々な機能

新駅は、バスやタクシー、自転車などの各種交通を結びつけ、交通の利便性を高めます。また、市街地の骨格を形成し、住環境や商業等の業務環境の拠点となります。さらに、人々が憩い、集うことができる場を設けることで、市民活動を活発にできたり、災害時の一時避難場所、緊急活動の拠点にもなります。そして、景観を形成し、まちの顔を形づくるなど、まさに様々な機能を有するものです。

2. 人口の増加

駅前開発とともに、現在実施中の市街地整備事業地区やその他の開発区域に対するまちづくりに弾みがつき、住宅の整備が進むと考えております。

試算では、現時点から開業5年後で約3,200人の人口増を見込んでおります。

3. 税収の増加

新駅設置により市民税の増収が見込まれるとともに、新駅周辺では利便性が向上することで資産価値が上昇し、これに伴い、固定資産税、都市計画税についても増収になると予想しております。

新駅開業から21年で市が負担する建設事業費を上回る税収を見込んでおります。

4. 建設による経済波及効果

埼玉県全体で、約113億円と予想しております。

スケジュール

平成25年度内に要望書を提出し、順調に進めば、**平成31年度開業**を見込んでおります。

新駅の事業

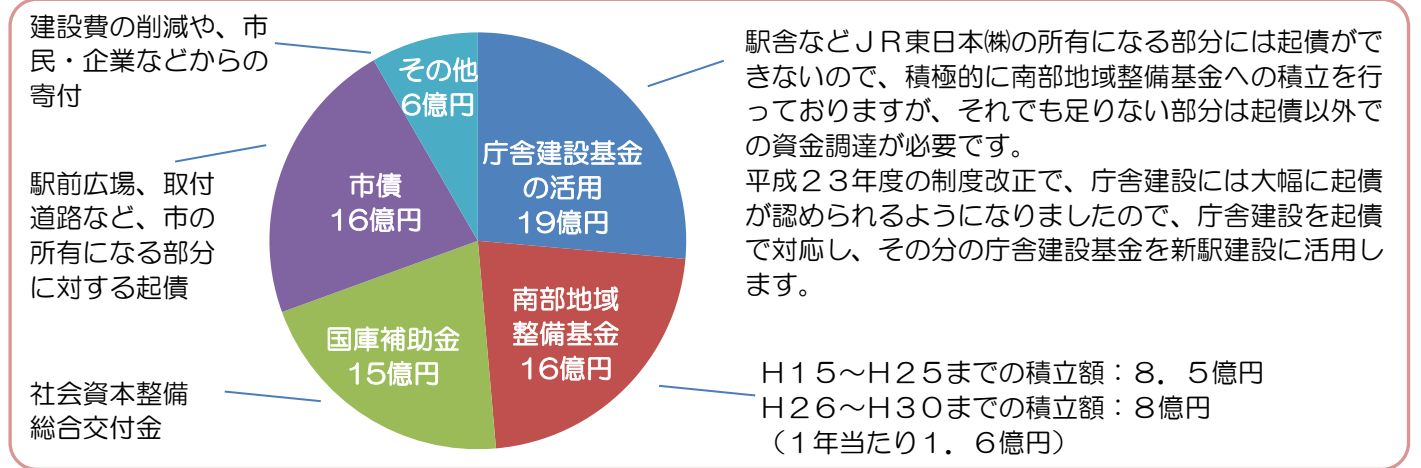
1. 事業概要

新駅の建設、駅前広場や道路の整備を行います。新駅の西側エリアの開発については、商業施設の誘致や住宅地の形成など、様々な可能性があります。住民投票で新駅を設置することが決まりましたら、地権者や市民の皆さんとともに、まちづくりの方向性を検討してまいります。

事業費は鉄道施設(駅舎、ホーム等)で約51億円、駅前広場や道路等で約21億円、合計約72億円を見込んでいます。

2. 財源内訳

事業費約72億円の財源については、以下のとおり計画しています。



3. 位置図

